

みしま MISHIMA SHIGIKAI DAYORI

# 市議会だより



城の梅雨入り 撮影者:吉村 正

## CONTENTS

令和5年度予算	2
2月定例会 議案審議の概要	4
常任委員会予算審査	6
代表質問	8
2月定例会 議決結果	10
市政に対する一般質問	12
市長への要望に対する回答	15
政務活動費収支報告・6月定例会のお知らせほか	16

# コロナを乗り越え未来に向け飛躍する ウェルビーイング推進型予算

三島市議会2月定例会で令和5年度予算案の審査を行い、原案どおり可決されました。  
一般会計予算は過去最大の424億8千万円で、前年度対比8.4%増となりました。  
第5次総合計画に沿った6つの基本目標を軸とした令和5年度の主な事業は、以下のとおりです。

## 基本目標4 交流とにぎわいのあるまち

- ・商店街共同施設費補助金 1,100万円  
南町文教線・三島裾野線などの無電柱化事業に伴い、商店会などが既存アーケード等を撤去する際の経費を支援し、商店街の景観整備や安全性向上を図る。
- ・企業立地推進事業 781万3千円  
企業誘致の推進に伴う新たな産業用地の創出のため、引き続き候補地の開発可能性基本調査を行う。

- ・楽寿園ガバメントクラウドファンディング事業613万円  
楽寿園の蒸気機関車を今後も良い状態で保存・活用するために、ガバメントクラウドファンディングにより寄付金を募り整備等を行う。
- ・中心市街地商業等活性化推進事業 4,198万4千円  
令和6年度の浅間神社周辺の修景整備に向け、旧久保町簡易水道施設の解体工事を行う。また、三島市まちなかりノベーション推進計画の具現化に向け、利活用可能な物件情報の整理および市内への新たな店舗誘致を図る。

## 基本目標5 快適で暮らしやすいまち

- ・三島駅南口東街区再開発事業(市街地再開発事業費補助金を含む) 19億6,117万1千円  
三島駅周辺ランドデザインの実現に向け、事業効果等の調査、事業関係者と連携した導入機能等の検討などを実施し、地下水・湧水の保全のために引き続き地下水モニタリング調査を行う。また、市街地再開発組合が実施する権利者への補償や建築工事等の費用について補助を行う。

- ・鉄道駅ユニバーサルデザイン施設整備事業補助金 1,533万4千円  
JR東海がJR三島駅に車いす用階段昇降機を設置する事業に係る経費の一部を補助する。
- ・公営住宅整備事業 6億8,232万8千円  
三島市公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅を整備する。令和5年度は藤代住宅B棟建設工事を行う。

## 基本目標6 共に創る持続的に発展するまち

- ・公共施設保全計画運用事業 5億2,616万3千円  
公共施設等総合管理計画などに基づき、必要な施設機能を維持し、財政負担の軽減や利便性の向上を図る。令和5年度は三島市が保有する公共施設に係る保守点検や緊急修繕を包括的に委託する包括管理業務委託を新たに導入し、統一的な視点による維持管理を行うことで、施設の維持管理水準の向上や業務の効率化、将来的なコスト低減を図る。

- ・ウェルビーイング推進事業 139万5千円  
精神的、身体的、社会的に良好な状態である「ウェルビーイング」の視点を地域づくりにも取り入れ、講演会の開催や市内各地域でのウェルビーイングミーティングを実施することで、地域のつながりを強化し、ウェルビーイングの向上を図る。
- ・スマート市役所推進事業 2,060万5千円  
自治体DXを推進するため、令和5年度は全庁キャッシュレス決済や手続き案内サービスの導入、水環境デジタル監視システムの運用などを行う。

## 基本目標1 安全・安心に暮らせるまち

- ・自転車乗用ヘルメット購入費補助金 200万円  
令和5年4月から自転車利用時のヘルメット着用が努力義務となることに伴い、購入に係る経費の一部を補助する。
- ・消防団運営事業 2,875万円  
令和5年度から消防団活動支援アプリを導入し、DXによる消防団活動の効率化・活性化を図る。

- ・処理施設整備事業 1億1,226万5千円  
現在使用している最終処分場第3埋立地の残余容量が逼迫しているため、新規最終処分場の整備を推進する。
- ・新エネ省エネ資源循環事業 788万2千円  
循環型社会の形成を図るため、資源ごみ回収に協力した団体に対して報奨金を交付する。また、公共施設のエネルギー使用量削減を図るため、2施設において、エアコンの消費電力(ガス)削減効果がある静電気除去シートの試験的導入を行う。

## 基本目標2 健康で福祉が充実したまち

- ・出産・子育て応援事業 7,165万4千円  
妊娠届出時の面談および希望者への妊娠8ヶ月前後での面談、出産後生後2ヶ月頃に乳児家庭全戸訪問での面談を行う。また、妊娠届出時の面談後に妊婦1人当たり5万円、乳児家庭全戸訪問での面談後に児童1人当たり5万円を支給する。

- ・市営長伏グラウンド整備事業 2,200万円  
長伏グラウンドの整備・改修を行うもの。令和5年度は、グラウンドAの照明設備やグラウンド改修に向けた実施設計を行う。
- ・ヤングケアラー支援推進事業 463万8千円  
子どもの家事などの負担を軽減するため、令和5年度から新たに訪問型子どもサポート事業を実施する。
- ・児童福祉施設整備費補助金 1億6,470万円  
民間保育所の老朽化に伴う移転新築に対し、経費の支援を行う。令和5年度は北上保育園が対象となる。

## 基本目標3 未来につなぐ人材を育むまち

- ・各幼稚園施設補修整備事業 4,690万円  
園児の快適な生活環境を維持するため、施設の適切な補修整備を行うもの。令和5年度は徳倉幼稚園の屋上防水および外壁改修工事を実施する。
- ・部活動振興事業 1,031万5千円  
中学校の部活動振興のため、外部講師による指導を実施し、各中学校に「部活動指導員」を21人配置する。また、部活動の一環として東海大会や全国大会に出場する生徒が在学する中学校に賞賛金を交付する。

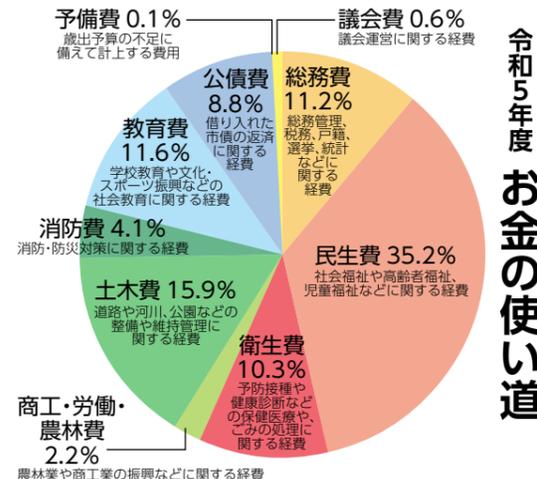
- ・各小学校施設補修整備事業 5億7,184万6千円  
小学校施設の適切な補修整備を行うもの。令和5年度は、令和4年度から引き続き向山、長伏小学校の長寿命化改修工事を実施するほか、中郷小学校において空調設備改修工事、管理教室棟トイレ改修工事、屋上防水および外壁工事等を行う。
- ・小学校コンピュータ整備事業 1億694万円  
小学校のICT環境の維持・拡充を行うもの。令和5年度は、電子黒板の追加整備や4小学校の校務系パソコンの入れ替えを行い、サイボウズ(株)のクラウドツール「kintone」の導入により校務のDX化を図る。

### 令和5年度会計別予算

会計別	令和5年度	令和4年度	前年度比
一般会計	424億8,000万円	392億円	32億8,000万円
国民健康保険	114億 331万円	114億2,524万円	▲2,193万円
介護保険	95億3,869万円	90億8,082万円	4億5,787万円
後期高齢者医療	16億4,168万円	16億6,557万円	▲2,389万円
墓園事業	844万円	790万円	54万円
駐車場事業	1億3,953万円	1億6,325万円	▲2,372万円
小計	227億3,165万円	223億4,278万円	3億8,887万円
水道事業会計	28億3,668万円	24億7,338万円	3億6,330万円
下水道事業会計	44億8,975万円	43億8,846万円	1億 129万円
合計	725億3,808万円	684億 462万円	41億3,346万円

※令和5年度会計別予算の金額については、万円未満を四捨五入して表記しています。  
※各基本目標でとりあげている事業については、「令和5年度予算案の概要」を基に記載しています。

### 令和5年度一般会計歳出予算



令和5年度 お金の使い道

# 令和5年 2月定例会

2月14日～3月15日  
会期:30日間

■今回の議案は…

- 市長提出議案 45件
- 議会提出議案 5件

この号では次の項目を  
Pick up!

**Pick up 1**  
【令和4年度三島市一般会計補正予算(第7号)】(賛成多数)  
■補正予算額  
1億7,014万7,000円

**Pick up 2**  
〈議第25号〉三島市副市長定数条例の一部を改正する条例(賛成多数)

**Pick up 3**  
〈議第26号〉三島市自転車等駐車場条例の一部を改正する条例(全会一致)

**Pick up 4**  
〈請願第1号〉難聴者の補聴器購入に係わる負担軽減を求める請願(全会一致で趣旨採択)

**Pick up 5**  
〈議第43号〉三島市副市長の選任について(鈴木氏全会一致・井口氏賛成多数)  
〈議第44号〉三島市教育長の任命について(全会一致)

詳細は、三島市議会ホームページをご覧ください。



三島市議会 検索

**Pick up 1**  
一般会計予算を  
増額補正

## 負担の軽減を 図ります

**○市民文化会館指定管理委託料 1200万円**  
世界情勢を背景とした電気・ガス料金の急激な上昇に伴い、市民文化会館の指定管理者における光熱費の負担の軽減を図るための費用を増額します。

### 主な質疑

**質疑** 委託の概要と光熱水費の取り扱いは。

**答弁** 指定管理の期間は平成30年4月1日から令和7年3月31日までの7年間としている。  
委託の内容は文化事業に関する業務、管理物件の運営・維持管理

に関する業務、事業計画、事業報告およびモニタリングに関する業務などである。  
このうち光熱水費の負担区分については、公募要項において委託料に含まれることを提示しており、仕様書においても指定管理者が光熱水費を支払うよう定めている。  
しかしながら、不測の事態等に対応するため、協定上、リスク分担の区分を定めており、物価および金利が著しく変動した場合、双方の協議事項とするとしている。



**Pick up 2**  
条例改正

## 副市長を 二人体制に

**○三島市副市長定数条例の一部を改正する条例**

三島市が将来にわたり持続的発展を成し遂げ、さまざまな行政課題に迅速に対応し、重要施策を的確かつスピード感を持って確実に推進するために、令和5年4月1日から令和9年3月31日までの間、副市長を二人体制にします。

### 主な質疑

**質疑** 副市長を2人とする目的と必要性は。

**答弁** 三島駅南口再開発事業や大場地区の土地区画整理事業、また、新たな企業誘致や工業用地の確保など、さまざまな重要施策を控えており、体制のさらなる強化を図ることを目的としている。

1人の副市長については、事業系の専門分野を統括し、もう1人が三島市全体における事務事業の執行状況を把握する役割を担うことにより、市政の円滑な運営を図る。

**Pick up 3**  
条例改正

## 利便性の向上に 向けて

**○三島市自転車等駐車場条例の一部を改正する条例**

**質疑** 費用対効果の指標は。  
**答弁** 地方自治法では副市長は市長を補佐し、市長の命を受けて政策・企画をつかさどり、市の各組織が行う事務を監督する職とされている。  
地方公務員法に規定される人事評価制度は一般職の職員が対象となっており、特別職である副市長は対象とならない。  
このことから、総合計画や、住むならみしま総合戦略、行政評価などの目標値に対する達成状況、あるいは各事業計画に掲げた進捗状況などが判断基準の一つになると考えている。

しかし、進捗状況を測ることは難しいことから、事業を取り巻くその時々環境などを含め、総合的にその成果を判断していくことが重要と考えている。

また、総務省からの指定管理者制度の運用に関する通知や、指定管理者協会および全国公立文化施設協会からの要望書を踏まえ、今回は市と指定管理者で協議し、市が補填することとなった。

**質疑** 補填額の算出根拠は。  
**答弁** 令和3年度の電気・ガス料金の単価と令和4年度の単価の差額に令和4年度の使用量を乗じて算出している。

令和3年度は、緊急事態宣言の発令等により施設の利用状況に影響があり、電気・ガスの使用量が減ったことから、単純に実績額の差額とするのではなく、単価の比較により光熱費高騰による直接の影響を受けた上昇分を算出したものである。  
光熱費の高騰は令和3年度末か

利用者の利便性の向上を図るため、三島駅北口自転車等駐車場の入出場時間を現在午前6時からとしているのを、午前4時30分から早め、広小路自転車等駐車場について、午前6時から午後9時までとしている現在の入出場時間を、24時間とする改正を行います。

### 主な質疑

**質疑** 利用者の増減予測は。

**答弁** 令和5年1月に三島駅北口・三島駅南口自転車等駐車場で行ったアンケート調査によると、三島駅北口を徒歩や送迎で通勤・通学している人のうち48人中11人が入出場時間を変更した場合に駐車場を利用するという回答があった。アンケート調査ができなかった人たちの分の割合も考慮すると、20人程度が利用すると考えられる。

また、三島駅南口自転車等駐車場の利用者に行ったアンケート結果では、34人中3人が三島駅北口自転車等駐車場を利用するとの回答があり、アンケート調査ができなかった人たちの分の割合を考慮

すると5人程度が南口から北口に変更すると見込まれる。

**質疑** 三島駅北口自転車等駐車場の早期無人化の検討は。

**答弁** 4月から開始される入出場時間の変更により、実際にどのような利用状況であるのかデータを分析する。その上で、利便性が高く安心して利用できる駐車場の運用方法について検討し、従事する高齢者が働きやすい雇用形態も考慮しながら、深夜から早朝にかけての警備員の配置や、中長期的にはオートゲートの設置、また無人化も含めて、研究していく。



## 福祉教育委員会 3月1・2日

### ヤングケアラー支援推進事業について

- Q** ヤングケアラー支援推進事業の訪問型子どもサポート事業委託とはどのような内容か。
- A** ヤングケアラーの世帯に対し、1回2時間のサポートを、月に2回から3回程度、炊事、洗濯、掃除等の家事支援を行うものである。1校当たり2名程度のヤングケアラーがいるのではないかと現在想定しており、この支援により、ヤングケアラーの子どもが少しでも子どもらしい生活を送ることができ、学校に通いやすくなるのではないかと期待している。

### 放課後児童クラブについて

- Q** 放課後児童クラブの利用者の申し込み状況および支援員の状況はどうか。
- A** 放課後児童クラブについては、令和4年度の5月1日時点で1,070人程度受け入れていたが、令和5年度については現時点で1,100人程度の利用希望の申し込みをいただいている。ほとんどの学区で児童の受け入れは可能であるが、山田小学校区については昨年度より申し込み者数が30人ほど増えているため、希望者全員の入会が難しい状況にあり、今後の受け入れ体制の整備を検討している。
- 支援員については、現在、地域の実施委員会が指定管理者として運営している坂小学校区も含めた公設の児童クラブ全体で、現時点では87人いる。令和5年度から指定管理者となるトヨタエンタプライズからは、既に93人を確保しているとの報告を受けており、6名増員となる予定である。なお、特別な配慮が必要な児童がいる場合には加配となるので、対象となる児童を確認しつつ、必要に応じて支援員の増員を図りたい。

## 経済建設委員会 2月27・28日

### 三島駅南口東街区再開発事業

- Q** 三島駅南口東街区再開発事業に関して、令和5年度に全体のスケジュールとしてどこまで進めていくのか、また交付を予定している補助金の内訳や想定している工事の範囲、近年の物価高騰による工事費への影響はどうか。
- A** 令和5年度のスケジュールとして、秋頃に権利変換計画の認可を予定しており、その後、解体工事に着手していくことを予定している。補助金の内訳は、補償費が約11億円、設計や既存建物の解体・整地を含めた工事費が約8.4億円であり、建築工事としては、出来高で5%程度を見込んでいる。
- また、工事費についてはE C I事業者と連携して効率的な施工方法を検討する中で精査しており、昨今の高騰を踏まえて現時点の状況を反映させて算出しているものである。

### 下水道使用料の改定

- Q** 三島市下水道事業経営戦略において、令和6年度に使用料を30%増という形で改定することが見込まれているが、そこに向けての令和5年度の取り組みはどうか。また使用料の増額について、1世帯当たりでいくらくらいになるか。さらに市民への説明はどのようにしていくか。
- A** 令和5年度は6月から10月まで、4回ほど審議会を開催して協議を行い、答申を受けてから、11月に条例の改正案を上程したいと考えている。
- 下水道使用料の改定は令和6年4月からを予定しているが、試算では1カ月当たり1世帯500円から600円程度の値上げを見込んでいる。また、周知については、広報みしま等でお知らせするとともに、検針の際に、各家庭に検針票を配付しているため、これにあわせて使用料改定の案内をポスティングしていきたい。



## Pick up 4

請願第1号

### 請願の審査

令和4年11月定例会で提出された「難聴者の補聴器購入に係わる負担軽減を求める請願」は福祉教育委員会に付託され、令和5年1月18日に審査を行い、全会一致により趣旨採択すべきとの結果になりました。

その後、2月定例会において、委員長が審査の経過と結果を報告した後に採決が行われ、趣旨採択となりました。

## Pick up 5

人事案件

### 人事案件に同意

❖副市長の選任  
副市長 市川顯氏が令和5年3月31日をもって退任することと、令和5年4月1日から4年間、副市長2人制を導入することに伴い、新たに副市長に鈴木氏、井口氏の両氏を選任することについて同意しました。

鈴木 昭彦氏  
井口 智樹氏

### 教育長の任命

教育長西島玉枝氏が令和5年3月31日をもって退任することに伴い、新たに小塚英幸氏を教育長に任命することに同意しました。



小塚教育長



井口副市長



鈴木副市長

## 予算審査

各常任委員会において、所管する各分野について詳しく審査しました

## 総務委員会 3月3・6日

### 災害廃棄物ハンドブック作成等業務委託料

- Q** 災害時のごみ処理は、どのような対応を想定しているのか。
- A** 災害後、清掃センターの状況を確認し、清掃センターが稼働する場合は自己処理を行い、稼働しない場合は協定に基づき近隣市町に協力を仰ぐこととなる。また、災害の被害状況に応じて災害ごみの量が違うため、量が確定した段階で仮置き場の設置場所を指定していく。
- なお、災害時は通常時の生活ごみと災害ごみが発生することとなるが、生活ごみは通常どおり収集を行う一方、災害ごみは市民の皆様に分別していただき、仮置き場への搬入をお願いする。そのような方法を案内するハンドブックを作成し、市民に周知していく。

### 消防団活動支援アプリ

- Q** 消防団運営事業における消防団活動支援アプリについて、導入に要する経費は人数に応じた算定か。また、導入によりどのような効率化が図られるのか。
- A** ファイヤーチーフという市販のソフトの導入を考えており、ほぼすべての団員の380人に導入することを見込んでいる。経費は1人につき月300円で、380人分となり、5月から本格稼働のため11カ月分を計上している。アプリの導入に伴い、出勤報告のデジタル化が図られ、出勤の通知や消防水利地図などを情報共有することができる。



緑水会

松田 吉嗣



自主財源の確保

**問** 自主財源比率が低下しており、適正基準に近づけることが大切である。自主財源の大半を占める市税収入の増収が重要だが、自主財源比率をアップするためどのような取り組みを行うのか。

**答** 市税増収に向け、観光振興による賑わい創出などを継続して実施するとともに、移住定住施策では、補助金の金額拡充に加え、お試し移住体験を新たに実施する。また、企業誘致では、スタートアップに係る新規メニュー拡充や、新たな産業用地の創出に取り組んでいく。

出産・子育て応援事業の効果

**問** 出産・子育て応援事業は、国による子育て支援施策の一環として行われる。令和4年度も出産祝金事業を行っているが、検証をした上での新たな事業なのか。また、今回の新たな取り組みの効果をどのように考えているのかを伺う。

**答** 出産祝金事業は子どもの誕生と保護者を祝福するための事業であり、市民からは「助かった」「感謝している」などの声があり、相当の効果があると認識している。この事業と国の新たな事業を併せて実施することで、一人でも多くの新生児誕生を願っている。

三島駅南口東街区再開発事業

**問** 昨年、知事の認可を受け、再開発組合が設立され、現在は事業の最後の山場である権利変換計画の作成が進められているが、事業の進捗状況と令和5年度のスケジュールを伺う。

**答** 令和4年6月の組合設立以降、再開発組合では実施設計や権利変換計画の作成を進め、令和5年秋頃の権利変換計画の認可を目指し取り組んでいる。今後も円滑な事業推進に向け、事業関係者との協議を行うとともに、市民の皆様との意見交換などを引き続き行っていく。

新未来21

宮下 知朗



業務効率化および市民サービス向上に向けた取り組み

**問** 限りある財源を効果的・効率的に活用するため、コスト抑制や行政サービスの質・利便性向上を図る取り組みは重要である。最小の経費で最大の効果を挙げるため、業務効率化および市民サービスの向上にどのように取り組まれるか。

**答** 行政手続きのデジタル化、ICTの活用等の取り組みを進めるとともに、業務の改善、効率化を図り、住民異動のデジタル窓口を開始する。市民サービスに直接つながる取り組みにより、行政改革を推進し、さらに市民の満足度が高まるよう努力していく。

安心して出産・子育てのできるまちづくり

**問** 妊娠・出産・子育てにおいて、不安や孤独感を抱えてしまうことのないよう、一人一人に寄り添った支援の拡充は今後重要であると考える。さらに子育て世代に選ばれるまちとしていくために、どのように取り組むのか伺う。

**答** 出産・子育て応援事業による経済的支援と伴走型相談支援を一体的に実施する。また、(仮称)産前・産後包括相談センターを開設し、オンライン相談やセミナー、情報発信等、ICTを活用することにより、若い世代の方々が気軽に参加できる環境を整えていく。

新たなにぎわい・交流の創出に向けた取り組み

**問** 三島駅南口周辺の再開発において西街区・東街区の具現化が着実に図られる中、三島駅周辺ブランドデザインの実現には周辺市街地のさらなる魅力向上も欠かせない。新たなにぎわい・交流の創出に向けてどのように取り組むのか伺う。

**答** まちなかりノベーション推進計画の対象エリアにおける遊休不動産等のオーナーに対し、物件の利活用についての意向調査を行う。開拓物件については、まちなかりノベーション研究会の新たな事業展開に活用するほか、創業支援機関にも共有し、新規店舗の誘致につなげる。

改革みしま

土屋 利絵



コロナ特例貸し付けなどを受けた方への返済のサポート

**問** この3年間で緊急小口資金などの貸し付けを受けた方々への徹底したサポートが求められる。返済免除申請のサポート、返済のサポートや生活支援など、三島市の伴走支援体制について伺う。

**答** 緊急小口資金等の特例貸付金の償還免除や猶予の対象者に対し、市や生活支援センターにて、代理申請等の丁寧なサポートをしているほか、生活支援センターが実施する家計改善支援事業等の自立相談支援事業につなぎ、生活再建に向けた積極的な支援を実施している。

不登校や教室に入れない子どもたちの支援

**問** 4月から市内3校の中学校に校内支援室をモデル的に設け、教室に入ることができない子どもたちを対象とした居心地のよい部屋を作っていくとしているが、その方向性を伺う。

**答** 校内支援室では、生徒の状況に応じて、担当の指導員の関わりに加えて、関係機関と連携した支援体制の構築についても取り組んでいく。また、令和5年度に開設のない4校においても、校内支援室の整備と指導員の配置について、早期に実現できるよう努めていく。

広域健康医療拠点としての三島駅南口東街区再開発事業

**問** 進出が取り沙汰されている順天堂大学医学部附属病院、三島市医師会、市民の3者にとってよい機能とするため、地域医療連携室のようなものを作り、お互いの長所を生かし、連携した取り組みの可能性について伺う。

**答** 東街区に進出する医療機関が、静岡県東部の地域医療連携の中でどのような役割を果たすのか、現時点では具体的にはなっていない。既存の医療機関と連携し相互に補完する形が重要と考えており、地域医療の充実につながるよう関係者との協議を重ねていく。

公明

堀江 和雄



教職員の働き方改革への取り組み

**問** 小中学校における教育の最前線にいる教職員の皆さまの負担軽減が必要と考える。学校業務の改善に向けて、校務の新たなシステムを導入し、校務のDXによる教職員の働き方改革をどのように進めるのか伺う。

**答** ICTツールを駆使した市教育委員会と学校間の情報共有等、教育の質に影響しない業務の効率化を進めるとともに、理想の働き方の共有や、対話による業務改善を学校現場に取り入れながら、働き方改革を進めていく。

マイナンバーカードの暮らしに便利な活用

**問** マイナンバーカードの普及により多くの方が申請・取得されている。これからは取得して便利になったと感じられる取り組みが求められると考えるが、どのような利活用が可能か伺う。

**答** 行政が保有するご自身の情報や行政機関からのお知らせを確認できるほか、子育てや介護関係の申請手続きがオンラインで可能となっている。また、コンビニエンスストアで住民票の写しなどを夜間や休日でも取得でき、市役所窓口よりも手数料が安くなっている。

職員のデジタルリテラシー向上への取り組み

**問** 三島市職員の皆さまがデジタルへの理解や、RPAなどの技術を習得することにより、業務の省力化につながると考える。デジタルリテラシー向上と行政運営の改善、省力化の取り組みについて伺う。

**答** 職場でのリーダーとなる職員を対象に業務改善ツールの活用を学ぶ「DX推進専門講座」、部長級職員を対象にデジタルを活用した業務マネジメントを学ぶ「DX推進管理者講座」など階層別や職員のスキルに合わせて実施する。

2月定例会 議決結果

<全会一致となった議案>

Table with 3 columns: 議案番号, 内容, 結果. Lists 40 items including budget amendments and personnel changes.

<賛否が分かれた議案>

Table with 13 columns: 議案番号, 件名, 結果, and 12 party members. Lists 13 items with voting results.

※ ○:賛成 ×:反対 欠:欠席
※ 議長は表決に参加しないため、表決結果は斜線になっています。

<令和5年度三島市一般会計予算案の討論について(発言順)>

Table showing speakers and their party affiliations for the budget discussion.

2月定例会 議決結果

<全会一致となった議案>

Table with 3 columns: 議案番号, 件名, 結果. Lists 21 items including requests for hearing aid and budget amendments.

Interview section with 問(Question) and 答(Answer) blocks. Includes a photo and QR code of 服部 正平 (Hirose Masahira).



甲斐 幸博 (緑水会)



子どもの育成

Q こども家庭庁が4月に発足するが、こども家庭庁の事業について、三島市として窓口を一本化し、誰一人取り残さない取り組みを行うてはどうか。

A 子育て支援に関する市の窓口は内容により分かれていますが、丁寧な案内により対応している。市民がより利用しやすい窓口となるよう業務体制を見直し、こども家庭センターの設置も見据えてこども家庭室を新たに設置するなど、体制の整備を図る。



市道における道路照明灯のLED化

Q LED灯は一般灯具と比べ40%消費電力量が抑えられ、二酸化炭素排出量や電力使用量も削減される。LED化を進めるべきと考えるがどうか。

A 緊急自然災害防止対策事業債を活用し、令和5年度からは水銀灯と蛍光灯に換えて140基の整備を予定している。地球温暖化対策のひとつとして、市が策定した地球にやさしい率先行動計画第5版に基づき、令和9年度までに道路照明灯のLED化の完了を目指す。

他の質問事項  
公園の再生とレジャー施設の取り組み



河野 月江 (日本共産党議員団)



建築物価高騰のもとでの再開発事業の工事費

Q 市は事業収支の見直しも示さず令和5年度に組合への20億円もの補助金支出を予定しているが、総事業費や工事費の見直しはどうか。

A 支出の大部分を占める工事費は※E C I方式のメリットを生かし精査が進められている。事業成立の大前提である事業収支バランスを確保できるよう、工事費や工期、保留床処分金などについて事業関係者で検討を行い、事業計画が精査されるものと考えている。

※E C I方式とは…プロジェクトの設計段階から施工者の技術力を設計内容に反映させ、コスト削減や工期短縮を目的とする契約方式。

小学校高学年の女子トイレにも生理用品を

Q 安心な学びの環境を整えるために、中学校に続いて小学校高学年の女子トイレにも生理用品の設置が必要と考えるが、見解を伺う。

A 小学校においては、保健室を窓口とすることで、児童一人一人の状況を丁寧に見取り、必要な支援を行うことを重視していく。なお、学校現場の状況をもとに、メリットやデメリット、また、その考え方を含めて、さらに議論する必要があると考えている。



他の質問事項  
自死遺族への心のケアの取り組みの現状



岡田 美喜子 (新未来21)



南口駅前広場「駅まち空間」の取り組み

Q 三島駅南口の再開発に伴い、東西街区と駅前広場、その周辺地域も含め一体的に整備することが必要と考えるが取り組みを伺う。

A 駅前広場整備に向けては、東西街区、楽寿園、中心市街地へ連続性や拠点性を持たせ、せせらぎや緑を残しつつ、十分な歩行空間や連続屋根の設置等による待合空間の整備の他、魅力的な景観形成を検討し、円滑な人の流れや活力、にぎわいの創出につなげていく。



生活困窮者の自立に向けた支援策

Q コロナ禍等により生活困窮者が増加し、子どもの貧困の連鎖を含めアウトリーチ型の相談・支援体制の強化が求められる。対策を伺う。

A 子どもの貧困が世代を超えて連鎖しないよう、子どもの学習支援事業など関係各課でさまざまな取り組みを実施している。また、ひとり親家庭への支援では、母子父子自立支援員を配置してきめ細かな相談支援に努めており、いっそうの相談体制や情報提供の充実を図っていく。



大石 一太郎 (改革みしま)



未来を拓く都市経営、土地利用で財源確保を

Q 5年後に完成予定の西間門新谷線の沿線は企業誘致に最適である。土地利用計画を見直し、雇用と税収で財政基盤を確立してはどうか。

A 当該地は本市の上位計画において複合産業集積ゾーンとして周辺環境と共存し得る企業立地を許容していく位置付けである。西間門新谷線の工事の進捗状況や地権者意向等を見極めつつ、企業誘致の見通しが立ってきたら、都市的土地利用を本格的に検討していく。

都市再開発事業と南北自由通路への取り組み

Q 三島駅南口東街区駅側ビルの導入機能を見直し、広域行政機能の導入と駅南北をつなぐ跨線橋の南側ゲート機能の設置を検討してはどうか。

A 南北自由通路の具体的な計画がない現状では、定期借地事業で整備される建物への自由通路のゲート機能の整備は困難である。土地は市が持ち続けるので、実現に向けた可能性を探っていく、具体的な案が出てくれば市有地を最大限に活用する中で対応を考えていく。



他の質問事項  
福祉社会の実現に向けた今後の取り組み方針



古長谷 稔 (無会派)



タブレット端末の活用状況と今後

Q 三島市におけるLTE機能具备了セルラーモデルのiPadの活用、修学旅行、校外学習、校舎外の授業などでの活用について伺う。

A 校外においてもネットで調べたり、写真等を共有したりできることから、活用の幅は多岐に渡っている。今後も、校外での児童生徒の主体的な活用等、端末の効果的な活用方法について研究するとともに、事例を集め、市内教職員と共有していく。



三島駅南口東街区再開発の市有地の権利変換

Q 三島市が所有する土地を権利変換して組合に受け渡すにも関わらず、三島市議会の議決を必要としない法的根拠は何か。

A 市が地権者となっている場合に、権利変換にあたり議決が必要と定めた法律はないと認識している。地方自治法第237条第2項については、交換や譲渡などが列記されているが、権利変換は挙げられておらず、議決が必要との根拠にはならないものと捉えている。



中村 仁 (緑水会)



会計年度任用職員制度の運用と市職員の現況

Q 低賃金の任用職員を長期に多数雇う経費削減は制度の本質に反する。単年を3年まで延ばしたルールを上回る残念な雇用への見解は。

A 事務員については、最長3年の再度任用が可能であり、3年を迎えた職員を任用する所属は公募をしている。しかし、経験が必要とする場合や、人材が集まらない等で、事業運営上人材が必要となる場合は、任用を継続することがあるが、可能な範囲で適正運営をしていく。

安心して出産できる持続可能な社会形成

Q 世界最高の技術・経済力を誇った昔を忘れ知不足安分、厳しい現実に見合う規模の市政運営が必須だ。未来のための最重要施策は何か。

A 未来の子どもたちのために、魅力的で誰からも選ばれるまちとなり、市民の皆さまが身体的、精神的、社会的に良好な状態を維持できる社会にすることが重要であるので、後世に本市の水や緑、歴史やにぎわいといった財産をより魅力的にして引き継げるよう努力していく。



他の質問事項  
教員の不祥事に対する学校と市の対応

# 市長から回答が届きました



村田 耕一  
(公明)



## 高齢者バス等利用助成制度の拡充をすべき

Q 高齢者バス等利用助成額を6千円に増額し希望者にはシルバー定期券購入の一部に使用できるように制度の拡充をすべきではないか。

A 使用実績を分析した結果、令和5年度は助成金額3千円を維持する中で、バス等の乗車1回に使用できる助成券の枚数を拡大することにより利便性の向上を図る。シルバー定期券については、市内を走るバス会社の一部が実施しているため、調査・研究をしていく。



## 保育園おむつ定額サービスの検討を行うべき

Q 保育園に持ち込むおむつとおしりふきを、希望者には事業者から園に直接納品される定額サービス利用の検討をすべきではないか。

A おむつ定額サービスを実施する事業者は複数あり、サービス内容や取り扱う紙おむつもさまざまである。保護者と保育士双方の負担軽減のため、アンケート調査を実施し、希望者がどの程度いるのか、どのメーカーの紙おむつがよいのかなど、実施に向けて調査していく。



野村 諒子  
(緑水会)



## 保護者研修などに参加しにくい家庭への配慮

Q 健やかな子どもの成長を促すためには親の学びの場や交流の機会が重要と考えるが、休みが取りにくい保護者への取り組みはあるか。

A 関係部署・関係団体が連携し、オンラインでのライブ配信など、さまざまな媒体を組み合わせ、保護者・参加者の多様なニーズに応えられるよう情報発信の工夫や改善を行い、休みが取りにくい保護者への研修を受ける機会の拡充に取り組んでいく。

## 文化芸術活動を推進し運営を担う人材育成を

Q 生涯学習や公民館活動など文化芸術活動が活発だが、活動を推進し運営する人材の不足が懸念される。改善に向けてどう取り組むか。

A 生涯学習分野では、既に日本大学公認学生団体がボランティアとして協力してくれているため、引き続き連携するとともに、学生や市民の参画を求める事業について、広く情報発信しながら、高等学校部活動との連携も視野に入れ、ネットワークの構築を図っていく。



佐藤 寛文  
(無会派)



## 財政運営

Q 令和4年度の税収見込みについて、令和3年度との比較および令和4年度当初予算との差異を伺う。

A 令和3年度決算額170億円との比較では約3.4%、約6億円の増収、当初予算額174億円との比較では約1.1%、約2億円の増収を見込んでいる。これは経済の低迷からの個人所得の回復基調、企業収益の増加、新築家屋分、工業団地での大規模な償却資産の導入によるものである。

## 誰も置き去りにしないまちの実現に向けて

Q 生活困窮者支援の現状を踏まえ、令和5年度の格差是正対策にどのように取り組むのか。

A 令和5年度は、生活支援センターのホームページを新たに構築し、相談予約やZoomでの相談等、よりアクセスしやすい取り組みを進めていくとともに、コロナ禍で増員した相談支援員の5人体制を維持し、生活全般にわたる支援を関係機関と連携し適切に行っていく。



## 他の質問事項 ゴミ減量と施設計画

総務委員会  
要望1 新庁舎の整備について

アクセシビリティや中心市街地の活性化に配慮した立地、サテライト機能の強化や自治体DXの推進、人口減少等を想定したコンパクトな規模かつ多様性や柔軟性に配慮した設計を実現すること。

### 回答

市民意見等を考慮し、アクセシビリティや跡地等の有効活用など、市域全体の活性化に向けて場所の選定を進めていく。  
また、オンライン等を通じて最寄りの施設から様々な手続きが可能となるサテライト市役所によるサービス提供など、DXの推進について調査研究を進めていく。  
新庁舎は長期使用を目標とするため、将来人口推計を見据え、コンパクトな規模かつ、変化に柔軟に対応できる工夫を設計段階から考慮していく。

福祉教育委員会  
要望2 認知症高齢者等の相談体制について

認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、三島市の取り組み姿勢を広く内外に示し、各種団体・地域等との連携強化や環境整備を図ること。また、市民が気兼ねなく利用できる相談窓口体制を構築すること。

### 回答

街中ほっとサロンや認知症カフェの開設、認知症サポーターの育成、チームオレンジの整備等について、引き続き市民への周知を図っていく。  
相談窓口については、もの忘れ相談会をはじめ、市内5カ所の地域包括支援センターや街中ほっとサロン、地域包括ケア推進課窓口等において、認知症をはじめとした相談が気軽にできる体制を整える中で、関係機関、団体等と有機的に連携していく体制を深化させていく。

経済建設委員会  
要望3 まちなかりノベーション推進計画の若者の参画について

中心市街地活性化に向けてまちなかりノベーション推進計画が策定されたが、大学のある街として学生の力を活かすことが必要である。企画段階から学生の参画を促し、若者の意見・要望を反映させた事業の推進を図ること。

### 回答

大学生との連携については、計画策定段階に市内在住の大学生にヒアリングを行い、対象エリアの抱える課題や、魅力的なエリアになるために必要なことについて意見を伺い、計画書に反映した。  
また、令和4年度に立ち上げた「まちなかりノベーション研究会」においても、各戦略の具現化に向け、学生に企画段階から参画を求め、若者の意見・要望を反映できるよう進めていく。

## 議会の活動

### 1月

- 10・11日 総務委員会行政視察
- 12日 議会運営委員会
- 13日 静岡県東部地区市議会議長会
- 18日 福祉教育委員会 議会報告会運営会議
- 26日 各派代表者会議

### 2月

- 2日 静岡県地方議会 議長連絡協議会
- 7日 各派代表者会議 議会運営委員会
- 14日～3月15日 2月定例会
- 14日 各派代表者会議 本会議 (議案審議)
- 22・24日 本会議 (代表質問)
- 22日 議会だより編集委員会
- 27・28日 予算審査(経済建設委員会)

### 3月

- 1・2日 予算審査 (福祉教育委員会)
- 3・6日 予算審査 (総務委員会)
- 8・9・10日 本会議 (一般質問)
- 8日 各派代表者会議 議会運営委員会
- 14日 議会だより編集委員会
- 15日 各派代表者会議 本会議 (議案審議)

# 政務活動費収支報告

三島市議会では、議員1人当たり月額15,000円を会派に交付しており、議会のチェック機能強化や政策立案能力向上を図るため、調査研究や資料の作成・購入などの政務活動への補助として活用しています。

収支報告書や活動報告書、領収書などの写しは、市役所本館1階の情報公開コーナーに常備しており、市議会ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。

## 令和4年度政務活動費執行状況（令和4年4月～令和5年3月）

### 1. 会派別執行状況

項目	緑水会	改革みしま	新未来21	公明	日本共産党 議員団	無会派 (推明会)	無会派 (是々非々の会)	無会派 (フォーラム三島)	合計
所属議員数	6	4～12月 1～3月 5 4	3	3	2	1	1	1	4～12月 22 1～3月 21
交付額	1,080,000	855,000	540,000	540,000	360,000	180,000	180,000	180,000	3,915,000
支出額	920,319	748,727	254,054	122,832	25,422	11,000	163,447	11,000	2,256,801

### 2. 支出費目別内訳

項目	緑水会	改革みしま	新未来21	公明	日本共産党 議員団	無会派 (推明会)	無会派 (是々非々の会)	無会派 (フォーラム三島)	合計
調査研究費	642,948	346,645	170,550	3,000	0	0	113,330	0	1,276,473
研修費	15,920	117,572	0	0	0	0	9,660	0	143,152
広報費	120,000	0	0	0	0	0	0	0	120,000
資料作成費	112,031	97,555	67,462	98,602	25,422	11,000	28,943	11,000	452,015
資料購入費	12,650	178,609	10,082	21,230	0	0	7,950	0	230,521
事務所費	0	8,346	0	0	0	0	0	0	8,346
その他の経費	16,770	0	5,960	0	0	0	3,564	0	26,294
合計	920,319	748,727	254,054	122,832	25,422	11,000	163,447	11,000	2,256,801

※すべての会派において広聴費、要請・陳情活動費、会議費、人件費に該当する支出はありませんでした。

### 議長交際費

議長交際費は、議長が市議会を代表して外部との交際上特に必要と認める場合に支出する経費をいい、その支出内容や相手が、社会通念上妥当と認められる範囲内の金額で支出しています。

令和4年度 支出額

区分	金額
会費等	59,330円
弔慰金	74,500円
賛助金	10,110円
見舞金	0円
合計	143,940円

#### 【5月臨時会の予定】

5月15日(月) 正副議長選挙ほか

#### 【6月定例会の予定】

6月6日(火)

議案審議

14日(水)～19日(月)

一般質問

20日(火)

一般質問(予備日)

22日(木)

議案審議

議会だより編集委員会

委員長：宮下 知朗

副委員長：沈 久美

委員：甲斐 幸博

村田 耕一

河野 月江

佐藤 寛文